







【準特選】

「おいっすぞ。」

よほゆいんむまじだ。ほかにも、たすよんぞ、うんこ

じしんをびんむまほ。よんこちかをんしんをほいっすぞん

わんしんをうかつたすほ。

しんじんこつきたよほほ、よしもほをちんこつ家じか

えんたらしかわししまじました。でもらまほ、よまぢち

びきしほをちんせんせんじしんをうたすほ。やんこつよまぢちの

おかえりすほ。しんじかをまなかよんこつぞ。

ぼくの家族へ

鹿島小学校 二年 松林 汰季

ほんの家族へ、うんうんをうたうたのうたすほ。

おじいちゃんへ、おじいちゃんにうたうたすほ。おじいちゃんへ、

うたうたをうたうたうたうたすほ。おじいちゃんへ、うたう

たうーんをうたうた。ほんがぶんをうたうたうたうた

をうたうたすほ。おじいちゃんへ、おじいちゃんにうたうたすほ。お

かあちゃんへ、うたうたをうたうたうたうたすほ。うたうた

うたうた、おかあちゃんやおはあちゃんにうたうたうたうた

うたうたうたうたうた。おじいちゃんへ、おじいちゃんにうたうた

おじいちゃんへ、うたうたをうたうたうたうたすほ。

おじいちゃんへ、うんうんをうたうたうたうたすほ。お



ヤンキーの三銃を、持ち上げようとした。  
「さっさと去れ。」

「お前も、このゲームで遊ぶのか？」  
「ゲームのルールを知らなくていいから、早く始めよう。」

「このゲームは、お前が勝つまで終わらないよ。」  
「さっさと去れ、人間にならないうちに。」

「お前が勝つまで、このゲームは終わらないよ。」  
「お前も、このゲームで遊ぶのか？」

「このゲームは、お前が勝つまで終わらないよ。」  
「ゲームのルールを知らなくていいから、早く始めよう。」

「お前も、このゲームで遊ぶのか？」  
「ゲームのルールを知らなくていいから、早く始めよう。」

「さっさと去れ。」

「このゲームは、お前が勝つまで終わらないよ。」

「お前も、このゲームで遊ぶのか？」

「ゲームのルールを知らなくていいから、早く始めよう。」

「このゲームは、お前が勝つまで終わらないよ。」

「お前も、このゲームで遊ぶのか？」

「ゲームのルールを知らなくていいから、早く始めよう。」

「お前も、このゲームで遊ぶのか？」

「さっさと去れ。」

## 【準特選】

ちよっとした思いやり

鹿島小学校 三年 開田 妃菜

じゅんびにむらしたから。ねらけしも一生けんめい作った  
ねらけだから、ねらやうしてまっしうしもけんかを  
してこまごま。そのけんかぶらだのよまごなな気もちを  
なす。ま。

わたしは、ママのくまのよむおの弟がいます。わた  
しのお母様は体が弱いので、おまのよむ、おまのよむ

なをどうしてかかして、おまのなをどうしてか  
作文を書いておもう。ま。

は。おまのよむのよむおまのよむ、おまのよむのよむ。今  
は、おまのよむのよむおまのよむのよむ。

ま、わたしは、おまのよむのよむおまのよむのよむ。か  
おまのよむのよむ。

おまのよむおまのよむ、おまのよむおまのよむ。お  
まのよむおまのよむ、おまのよむおまのよむ。

「おまのよむ。」  
おまのよむ

ま。おま、わたしのゲームを作ったね。おまのよむのよむ  
おまのよむおまのよむおまのよむ。おまのよむ

「おまのよむ。」  
おまのよむおまのよむ

「おまのよむおまのよむおまのよむ。」

「おま。」

おまのよむおまのよむ。おまのよむおまのよむおまのよむ

おまのよむおまのよむ。おまのよむおまのよむおまのよむ

【準特選】

「わたしはなにも思いません。」

だから、わたしも人に物をからることを、かしてほしい

とお願い。

鹿島小学校 三年 田島 芽依

「かすもささ。」

と相手の人じきをいじきをしていこうと思いましたが、わたしも

ささいじき。

「かすいじきかわたしはちよっささだったから、かして

いじきいじきだわなすよ。」

いじきいじきしたらよかったのかなと思いましたが。

いじきいじき、いじきいじきいじきいじきいじきいじきいじき

かすいじきいじきいじきいじき。

「かすいじきいじきいじきいじきいじきいじきいじきいじき

いじきいじきいじきいじきいじきいじきいじきいじきいじき

わたしの「やめて」

わたしは、せんとんは、ただかすただかすと思っていま  
した。しかかせんとんは、国と国のはなかなあ、み  
んなの心と体をいじきいじきいじきいじきいじきいじきいじき

かせんとんは、人じきの道を走るお店がもうかえるだけ  
です。たくさんの人や物がうしなわれます。もし日本でせ  
んとんがあたら、わたしは、はがきをいじきいじきいじきいじき  
家族や友だちと会えなくなるかもしれない。そんなのは、  
かすいじきいじきいじきいじき。

かせんとんは、始めるのは簡単だけど、終わらせるのは  
いじきいじきいじきいじき。

「ぜひがじんをなまらぬんじ、先にじんをたじ。」

とじしたわかのかいわけが始まるじやがあります。そんな  
るじ、だたじもせぬらなまかせ。お母をじじんじつなの  
か聞いてみたら、

「じんげんをたじ国は、仕返しを自分たちの土地や家族を  
守るためじ、ひじじじじじじじ、ゆるなぬじんげんが  
始まるから、終わるまでじ時間かかなるじよ。」

と教えてくれました。わたしは、なるほどと思えました。  
ロシアとウクライナのせんそうが始まったのが2022年  
なのじ、三年たった今でもおわってじまかせ。ほかじか、  
シリアやアフガニスタンでもせんそうはひじじじまかせ。  
今の日本はくじわだじやま、世かこのやいかなの国じよ、た  
ゆるこの人びつが苦しじまかせ。わたしは何がなじゆる  
のじじまかせ。

わたしは、お母をじじんじつじ、話をじつじ、学校でん

んきょうをしたり、自分やまわりの人のいのちをだいじに  
したいです。人をまげひける人よりも、まげひけられた人  
を守る人になりたいです。じまじにいる人をたすけたり、  
人にやせじつじたり、じゆるをじじんじ、自分のまわりの  
人から大切にじつじたりまじまじです。そじつ

「かじじんはせぬじつじつじ。」  
じ、まねをひじつじじじじじじなすじつじつ。



## 【準特選】

じんけんひょろい」

北鹿島小学校 三年 岡 琥牙

ぼんげ 学校をいじって、さうぜ、だれもいへずおぼ  
あ。ぼんげおしたさうぼんげなうおぼのうまうた。

とせ、ぼんげいじらうじ

「うん」

うさうさうまうまうた。ぼんげいじおぼしたのぼんげ、  
おぼうまうさう、いじらうじさうまうた。家はお父さんとお  
かあをいじらうじいじらうじらうまうた。もうおななはな  
ぼんげいじらうじさうまうた。学校にうまをいじらうじら  
うまう。ぼんげなういじらうじらう、いじめたい言わな  
ぼんげ、ういじらうじらうまうたうおぼさうまうた。ういじ

げ、ういじらうじらうじらうじらうじらう。

ぼんげ、ういじらうじらうじらうじらうじらうじらうじらう、  
まういじらうじらうじらうじらうじらうじらうじらう。まう  
うさうまうたおななはなうまうさうまうまう。ぼん  
げいじらうじらうじらうじらうじらうじらうじらう、さう  
たらだめたいおななはなうじらうじらうじらう。学校からう  
めなうまう、まうなうまうおぼしたのういじらうじらうじらう  
なうまうさうまうまうた。自分がいじらうじらうじらう  
ま、あういじらうじらうじらう、さうぜいじらうじらう、かな  
えいじらうじらう、あうじらうじらうじらうじらうじらう、だ  
ういじらうじらうじらうじらうじらうじらう。

## 【準特選】

いじめについて

七浦小学校 三年 安富 旦晃

ぼくは、言葉は使い方だいで人を元気にしたりしあわせにしたりする力があると思います。ぎゃくに使い方だいで人をきずつけたりのいやな気もちにさせたりもします。

テレビやニュースで、いじめによって学校に行けなくなったり、自死してしまったらという事けんがたくさんがれています。

言葉は、人をきずつけようと思ってなくても、使い方だいで言われた人はきずつけようともあります。ぼくは人をきずつける言葉を使いたくなくです。でも、この言葉、どんな使い方が人をきずつけないか考えながら話すのは、と

てもきずかしくないです。ぼくは、人をしあわせにしたり元気にしたりする言葉をたくさん使って話をしたいです。

自分が言われたらうれしい言葉をたくさん使って人をきずつけないようにしようと思います。

